

徐々に寒くなってきました

先日の合唱コンクールでは、どのクラスも精一杯の歌声を披露し、すばらしいコンクールになりましたね。あのクラスの団結力をこれからの学校生活でも生かせるように頑張っていきましょう。

さて11月に入り、だんだん寒さが身にしみるようになってきました。ジャージと体操服、制服と体操服だけでは少し肌寒くなり、セーターやトレーナーなどの防寒着が必要になることでしょう。先日は配布した手紙やこの架け橋でよく確認をし、きちんとルールを守って着用しましょう。また、防寒着はおしゃれをするために着用するものではありません。制服や校内着の着方がだらしないにならないように、裾や袖からはみ出したりしないようにしましょう。

これから期末テストがあり、あっという間に2学期も終わりを迎えます。体調管理をしっかりして落ち着いた学校生活を送りましょう。



成功させよう

1. 11月の目標 **『時間を意識して行動しよう』**
2. 努力点
 - チャイム着席を守ろう
 - 清掃に素早くとりかかろう
 - 冬下校時刻を守ろう

11月の目標は「時間」です。2学期の大きな行事も終わり、勉強（授業）にしっかり目を向ける時期になりました。授業をきちんと受けるためには、やはり時間を守って着席し、時間通り授業が開始できることが一番です。期末テストも近いので、授業に集中できる環境をみんなで作りましょう。また、2学期に入り、日が落ちる時間もどんどん早くなっています。下校時間も変わっていきますので、下校時間をきちんと守れるよう、努力しましょう。

寒さ対策をしよう

寒さに負けて、勉強に身が入らない、部活ができない、風邪をひいてしまった、ということが無いように、防寒着で温度調整をして下さい。特にいつから着用して良いとは決めません。毎日天気予報を見て、着るものを決める癖をつけましょう。

防寒着	着用して良いもの	注意事項
セーター (トレーナー)	<ul style="list-style-type: none"> ■黒、紺、茶、グレー、白 ■クルーネック、またはVネックのもの ■無地またはワンポイントのもの ※カーディガンも可 	<ul style="list-style-type: none"> □ジャージ、制服からはみ出してはいけません(裾、袖など) □華美なものは着用してはいけません
コート	<ul style="list-style-type: none"> ■スクールコート、ダッフルコート、Pコートは可 ■黒、紺、グレーのもの ※ウィンドブレーカー、パーカーは不可 	
マフラー、 ネックウォーマー	<ul style="list-style-type: none"> ■着用可 	<ul style="list-style-type: none"> □制服の上から着用しましょう。 ※第1ボタンをはずしたり、スカーフを外したりした状態で着用してはいけません。
手袋	<ul style="list-style-type: none"> ■着用可 	
耳あて	<ul style="list-style-type: none"> ■着用可 	<ul style="list-style-type: none"> □華美なものは着用してはいけません
使い捨てカイロ	<ul style="list-style-type: none"> ■使用可 	<ul style="list-style-type: none"> □使用後は必ず家で処分して下さい。 ※学校で捨てないでください。
座布団	<ul style="list-style-type: none"> ■使用可 	
リップクリーム、 ハンドクリーム	<ul style="list-style-type: none"> ■使用可 	<ul style="list-style-type: none"> □無色、無香料のものを使用しましょう □マナーを守りましょう。

※「膝かけ」等については、原則として使用不可。体質的なものがあり医師の指導や保護者からの要望がある場合については、書面または口頭により担任を通して許可を得ること。

※ ハイネックやタートルネックのものは、セーター、トレーナーだけでなく、インナーシャツでも着用してはいけません。

不審者に注意！

先日手紙でもお知らせしたとおり、10月末より学区や市内で不審者情報が多発しています。下校時や帰宅後も含め、十分気をつけて生活して下さい。もしも何かあった場合には、「助けて！」と大きな声を出して逃げ、帰宅後に学校と警察に連絡をお願いします。

先生方でも下校後のパトロールを回っていますが、気になることは、真っ暗な中おしゃべりをしながら立ち止まっている人をよく見ることです。とても危険です。自分の身は自分で守らなくてはいけません。「私は大丈夫」と過信せず、早めの下校を心掛けましょう。